

# 恵迪寮同窓会 30年の歩み

since 1983~2013



恵迪寮同窓会

横山芳介 作詞  
赤木頭次 作曲  
明治四十五年 恵迪寮歌

都を弥生の雲吹来に  
花の香漂ふ宴遊の竹垣  
盡すせぬ春には濃き、紅也  
その春暮るは移らふ色の  
夢をこそ一時去りしげみに  
燃えたる我の胸を載せて  
白雲をよかに光れり北を  
人の花の清き園をよとあこがれぬ

恵迪寮同窓会へのお問い合わせなど

〒064-8610 札幌市中央区南13条西11丁目2番32号 (株) アークス気付  
TEL&FAX 011-530-1186  
E-mail info@keiteki-ob.jp http://www.keiteki-ob.jp/

# 祝！ 創立30周年 次の30年に向かって

第12期恵迪寮同窓会代表幹事 白浜憲一(S40年入寮)

昭和30年前後入寮の先輩方のご努力下、本会設立から30年の山あり谷ありの歳月が流れました。創立期の方々は既に75歳前後となり、同窓会役員からは一步身を引かれる方や志半ばで鬼籍に入られる方も増えてきております。これまで会の先頭に立って会の活動を牽引された方々に敬意を表するとともに、いま一度、会の存続と発展のために何が必要であるかを見極め、緒を締め直し、恵迪精神を如何なく発揮する良い意味でのアナクロニズムの下、開かれた行動する同窓会を目指したいと存じます。

二つの百年記念事業があったこの6年間は、草創期に次ぐ第2の同窓会高揚期でありました。恵迪寮命名百年記念では、延べ800名の参加者を数え、協賛金は1200万円を超え収支差額150万円は基金に組み入れることができました。今回の「都ぞ弥生」百年記念では、延べ1000名の参加者で、協賛金は1800万円を超え、基金に組み入れられる収支差額は300万円を超える見通し(現在継続中)です。恵迪寮と「都ぞ弥生」の存在を大いにアピールできたばかりでなく、会員諸氏の恵迪寮に対する想いの深さを再確認することができました。また、CDやDVDなどの恵迪グッズの制作販売による持続的な収入源の確保が可能になり財政的基盤の充実にも大きく貢献しました。この成果を次の30年の活動の土台にして参ります。

しかし、同窓会が抱える課題の大本は会員の増強と組織力の強化であります。同窓会の活動はより多くの会員の参加により支えられるものです。会員の高齢化は如何とも避けがたく若い会員の参加促進は喫緊の課題です。いわゆる「同窓会」と同じ轍を踏まず新化・進化・深化する同窓会創造のために、1. 会則にある同窓会の目的の検証・議論を通して次の目標を明確にする。2. 若い会員が参加したくなるような持続可能で魅力的な企画を立案する。3. 草の根の組織活動、即ち全国地区恵迪会結成を促進する。4. 「都ぞ弥生」の本丸である北海道大学と現恵迪寮への建設的な活動提起と支援活動を展開する。5. 本部・3支部組織の役員の若返りと健全な財政基盤の充実を図る。


これらのことをできることから粛々と進めて参ります。会員諸氏のご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。



## 恵迪寮同窓会発足までの黎明期



旧制の予科から新制大学に、戦後の混乱がようやく落ち着いてきた昭和20年代後半、学内外で「都ぞ弥生」を代表とする恵迪寮歌の歌碑や寮にゆかりのある人達の顕彰碑などが次々と建立された。しかし、その運動は予科出身者とか同期生だけの集まりや札幌、関西、関東などの地域に限られていた。全国のOBを網羅した同窓会組織が誕生するきっかけは、昭和50年代に当時の文部省が打ち出した、旧寮舎を廃し、新しい学生寮の建設計画への抵抗であった。「新しい寮にも恵迪の名称と自治精神を残し、寮歌を歌い継ごう」と、OBたちの恵迪魂に火が付き、現寮生をバックアップするかのようになり立ち上がった。こうして旧制大学の流れをくむ学寮では極めて珍しい全国を縦断する同窓会結成に進んでいく。

昭和25(1950)～57(1982)年		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
昭和25年		(3月)大学の予科廃止 (10月)島善鄰氏学長就任
27年		(4月)獣医学部設置
28年		(8月)法経学部が法学部、経済学部に分離
29年		(10月)杉野目晴貞氏学長就任
32年1月	静岡・長源院に「都ぞ弥生」の歌碑と横山家の墓石建立	(9月)北大創基80周年記念で旧恵迪寮舎南側に「都ぞ弥生」の歌碑建立。除幕式に赤木顕次氏参列
35年		(9月)クラーク会館落成
37年	関西恵迪会発足(京都・嵐山寮)北大予科出身者40数名参加。以後、平成8年の同窓会西日本支部設立まで大阪・芦屋・宝塚市などで開催	
40年		(4月)薬学部設置
41年		(7月)入寮選考や水道光熱費などの負担区分を盛り込んだ新学寮規則を制定。新寮規に拠らない自主入選を主張する寮生側との対立は昭和50年代まで続く (10月)古市二郎氏学長就任
42年		(5月)堀内壽郎氏学長就任 (6月)歯学部設置
44年		(4月～12月)大学紛争激化。入学式中止や校舎の封鎖が相次ぎ、構内に初の機動隊導入
46年		(5月)丹羽貴知蔵氏学長就任
50年		(5月)今村成和氏学長就任
51年		(9月)北大創基100周年記念事業として百年記念会館建設
53年		(11月)土幌高原に“第2恵迪寮”土幌小屋「チセ・フレップ」建設
55年11月	関東恵迪会発足 初代会長に御手洗毅(T10)	

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
昭和56年 8月	昭和22、23入寮生が恵迪寮に仮宿し、寮舎に別れを告げる会	(4月)言語文化部設置 (5月)有江幹男氏学長就任
57年 8月	昭和25～28年入寮生が「懐かしき恵迪寮舎に別れを告げる会」開催。昭和29～32年入寮組も「恵迪寮永遠なれ」の会を開き① 恵迪寮名の継承 ②恵迪寮舎の永久保存③恵迪寮歌継続を決議。さらに文集「恵迪寮よ永遠に」を刊行し、寮の存続をアピール。これが同窓会設立の発端となる	 懐かしき恵迪寮に別れを告げる会

## 悲願の同窓会設立へ


### 第1期1年次 (1983年)

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
昭和58年 1月29日	恵迪寮同窓会設立発起人会 自治会館にS2～54年入寮の有志16名が集まり、①恵迪寮名と寮歌の継承②恵迪寮舎一部の永久保存の2点を大学に要請すること決議、星光一、中瀬篤信ら有志が「北大恵迪寮に関する要望書」を有江幹男北大学長に提出	(1月)新々寮(現在の恵迪寮)落成
2月15日	道庁と開拓記念館長・開拓の村村長に協力要請	 上空から見た恵迪寮
3月18日	恵迪寮同窓会設立総会(北海道自治会館) 初代会長に星光一(S3)代表幹事に佐山峻(S25)を選出。名誉会長に木原均(T7)御手洗毅(T10)山本吉之助(T9) 活動方針として恵迪寮名と寮歌の継承、寮舎の北海道開拓の村移設と復元を決議	 第1回総会
8月	玄関事務所棟、南寮・北寮各2室の寮舎計800㎡を8000円で購入し、開拓の村に寄贈	(3月19日)北大が札幌地区男子学生寮完成を祝う記念式典・祝賀会(札幌京王プラザホテル)、現寮生は恵迪寮閉寮記念第74回寮歌祭開催(北大教養部食堂)北大が七学寮閉鎖して「新々寮」に移転命令。学生部が新々寮規により入寮選考を実施したため、寮連は猛反発
8月13日	第1期総会&大寮歌祭第1回北海道大会(札幌・京王プラザホテル)名誉会長、会長以外の役員選出し、(株)現代ビューローに事務局を設置。2年毎の総会と大寮歌祭、同窓会名簿と会報の発行を決議	
10月	同窓会報「恵迪」第1号発行 同窓会設立等を掲載	

### 第1期2年次 (1984年)

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
昭和59年9月	同窓会報「恵迪」第2号発行	(4月)女子学寮が旧北学寮敷地に落成、新々寮規により開寮
10月	同窓会名簿(昭和59年版)刊行(A4判、332頁)明治9年から昭和54年までの入寮者約1万名を収録	<b>新々寮問題と寮規闘争の推移</b> ①学寮は単なる厚生施設で原則的に個室②入寮選考権は大学③水光熱費の負担区分④新寮規の遵守を推し進める大学側と、あくまで旧寮規で寮自治を主張する寮生側と激しく対立。一時は閉寮を前提に大学側が募集停止を決定(昭和60年11月)したが、事態を憂慮した同窓会の星会長らが学生部に「閉寮反対。伝統を重じ解決を図れ」という要請文を提出する一方、現寮にも和解勧告した。その後、紆余曲折を辿り寮問題は幾度も再燃したが、その度に同窓会の強力な仲介により双方が歩み寄り、今日の形態となっている
12月	北海道開拓の村恵迪寮舎落成	
	 開拓の村寮舎説明図(初代寮舎への復元) 点線内移動部( )内は2階を示す 開拓の村寮舎(西向き) 第二代寮舎(東向き)	
		

### 第2期1年次 (1985年)

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
昭和60年 4月24日	第2期1年次理事会開催	
6月15日	北海道開拓の村恵迪寮舎の公開。第2期総会&大寮歌祭第2回北海道大会。玄関事務所棟(玄関、下駄箱、巡視室、宿直室、事務室、寮務室、記念室)を復元し、クラーク肖像画と書画「恵迪吉」の複製版を掲示。南寮1階2室に明治末期の農科大学時代、南寮2階2室に大正・昭和初期の北海道帝大時代の居室を再現	 旧寮舎前で記念撮影
7月	同窓会報「恵迪」第3号発行	
11月	同窓会通信第1号を発行し、会員に新々寮問題を報じる	

### 第2期2年次 (1986年)

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
昭和61年 4月	同窓会通信第2号発行、寮問題の一時的妥結と新入寮生95名の入寮を報告	

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
7月	同窓会報「恵迪」第4号発行。文集の編集状況や開拓の村追加展示の紹介 第3回関東恵迪会寮歌祭兼 <b>大寮歌祭第1回東日本大会</b> (東京都・東郷会館)文集「恵迪の青春」を刊行 明治大正、昭和戦前・戦後、寮歌と私、嗚呼青春の座談会など5テーマを収録。446頁	同窓会出版支援により「恵迪寮史第2巻」(昭和7～57年)刊行
10月		


**第3期1年次 (1987年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
昭和62年1月18日	懇親新年宴会(札幌・北屋)今回から「恵迪寮新年寮歌始めの会」と改称し、恒例行事となる <b>第3期総会・大寮歌祭第3回北海道大会</b> (札幌・京王プラザホテル)第2代会長に大原久友(S5)選出。星前会長は名誉会長。東日本支部と西日本支部の設立を提案	(1月)恵迪寮で再び自主入選を断行、大学は募集停止で対抗 (5月)伴義雄氏学長就任
3月		

**第3期2年次 (1988年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
昭和63年 7月 8月12日	同窓会通信第3号発行し、寮問題の再燃を広報 <b>大寮歌祭第1回西日本大会</b> (神戸市・須磨荘)これ以後、大寮歌祭の札幌(兼総会)、西日本、東日本支部の持ち回り開催が定着。総会で恵迪寮存続を決議、北大に送付。大寮歌祭で須磨海岸のファイヤーストーム	(3月)恵迪寮が継続して自主入選を断行。大学は募集停止で対抗 (8月)学長、学生部長に新々寮問題に対する決議文を手交。学長は近いうちに解決をめざし学内外の期待に添うよう努力すると回答

**第4期1年次 (1989年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
平成元年9月	<b>第4期総会 &amp; 大寮歌祭第4回北海道大会</b> (札幌・京王プラザホテル)	 <p>恵迪寮玄関に新看板を掲げる大原会長</p> <p>同窓会が「恵迪寮」の新看板を寄贈。大学は正式に「恵迪寮」の名を承認、寮問題が解決に向かって動き出す</p>

**第4期2年次 (1990年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
平成2年10月20日	<b>大寮歌祭第2回東日本大会</b> (横浜・氷川丸船上)大原会長をはじめ、大正5年から昭和61年入寮生と、その家族ら250名を越す大盛況	

**第5期1年次 (1991年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
平成3年 9月	<b>第5期総会 &amp; 大寮歌祭第5回北海道大会</b> (札幌・京王プラザホテル)第3代会長に繁富一雄(S6)、代表、幹事に中瀬篤信君(S26)を選出 写真集「青春の北大恵迪寮」を刊行 A4判、カラー8頁を含む180頁。明治9年から今日までの600枚の寮の歴史写真を収録	(5月)廣重力氏学長就任 (11月)三度目の新々寮問題が再燃。この夏に寮生が自主入選を宣言したため、大学は募集停止で対抗。同窓会では寮生・学生部長との懇談会を開き、両者の話し合いを促す
12月		

**第5期2年次 (1992年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
平成4年 7月 4日	<b>大寮歌祭第2回西日本大会</b> (大阪・ハーバービレッジ) 支部総会后、帆船サンタマリア号港内観光、船内で本場スペインのフラメンコ鑑賞 第1回開識社(札幌・共済サロン) 講師・佐山峻(S25) 演題「クラーク先生の壮志と野望」 <b>同窓名簿(平成4年版)</b> 刊行 明治9年から昭和63年までの1万489名を収録。逝去2177名、住所不明6767名 同窓会報「恵迪」第10号発行。名簿刊行や東日本、西日本支部発足を知らせる	(2月)学生部と寮連委員会との妥協が成立、正常化へ。8年にわたる闘争が終結
9月19日		
11月		
11月		

**第6期1年次 (1993年)**

同窓会の歩み		北大・現寮の出来事
平成5年10月10日	<b>第6期総会 &amp; 大寮歌祭第6回北海道大会</b> (札幌・京王プラザホテル)総会前に開拓の村訪問。村内パレード、寮舎献歌祭等	

第6期2年次 (1994年)		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成6年10月22日	大寮歌祭第3回東日本大会(横浜・山下公園氷川丸船上)参加者250名	(7月)恵迪寮に初の女子寮生11名が入寮

第7期1年次 (1995年)		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成7年 1月	文芸誌「恵迪」創刊号発行 当面は2年置きに刊行	(4月)教養部廃止 (5月)丹保憲仁総長就任
9月16日	第7期総会 & 大寮歌祭第7回北海道大会(札幌・京王プラザホテル)規約改正:事業年度と役員 の任期は3年。3年毎に札幌で開催される総会 で会長・代表幹事・会計監査を選出。会計年度 は4月に始まる1年間とし、年度毎の事業と収支 予算決算は理事会において審議決定する。会 則に東、西日本支部の設置を明記し、恵迪寮大 寮歌祭を持ち回りで開催する。代表幹事に幸健 一郎(S30)を選出。事務局は伊東法律事務所、 半年後に(株)ラルズに移転	

第7期2年次 (1996年)		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成8年 5月	第7期2年次理事・幹事合同会議(雪印パーラー) 会長・繁富一雄(S6)副会長・朝比奈英三(S8)、 宍戸昌夫(S10)、吉川茂明(S11)、森本忠良(S- 12)、岸(平瀬)浅彦(S17)、安井勉(S18)、稲垣 昌利(S21)、村山正(S23)、中瀬篤信(S26)、監 事・伊東孝(S30)、新井三郎(S32)、代表幹事・ 幸健一郎(S30)、副代表幹事・厚谷純吉(S30)、 横山清(S30)、事務局長・高井宗宏(S31)	
6月	文芸誌「恵迪」第2号を発行。2000部印刷 同窓会通信第10号を発行	
9月14日	大寮歌祭第3回西日本大会(神戸・シーパル須磨) 開識社 「恵迪の自治」をテーマに各層代表5 名で話題提供。大寮歌祭・ファイヤーストーム	(9月20日)差し入れ持参で OB5名が現寮生の水産追い 出しコンパに初参加

第7期3年次 (1997年)		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成9年 7月25日	第7期3年次理事・幹事合同会議(雪印パーラー)	(4月)北大当局が恵迪寮執 行委員会を公認、形式的に も寮自治が成立

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
10月11日 11月	大寮歌祭第4回東日本大会(東京・芝弥生会館) 東日本支部設立総会:支部長・広田幸広(S20) 支部長代行・篠原猛(S29)幹事長・石川舜(S32) を選出	


第8期1年次 (1998年)		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成10年 8月	同窓会通信第12号発行し、創立15周年記念大 会の開催案内	
9月19日	創立15周年記念事業 第2回開識社(北大クラーク会館)講師・牟田悌 三(S21)「現在の子供を取り巻く状況」、河原克 美(S26)「老人福祉の問題」、岡部賢二(S29)「ト ルコの現状」	
20日	第8期総会 & 大寮歌祭第8回北海道大会(北大 教養部食堂)記念事業として雑誌「恵迪」第3号 発行、開拓の村寮舎展示物の充実強化。財政 悪化に伴う緊急避難措置として終身会員に「組 織運営負担金」(年2000円)を要請	

第8期2年次 (1999年)		
	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成11年 1月 7月	新年歌始めの会(札幌・誉御殿) 大寮歌祭第4回西日本大会(神戸六甲荘)開識社: 恵迪四方山話小島悦吉(S5)、中瀬篤信(S26) 中野昭信(S22)ほか	(4月)北大総合博物館(旧理 学部本館)設置
8月 10月 3日	事務局通信～創立15周年記念号発行 創立15周年記念事業(開拓の村・旧寮舎)戦前 ～戦後のエッセンの展示、恵迪寮の落書きを展 示室壁面に再現。北大管理の第二代恵迪寮の 模型移設展示ほか。開識社:「北海道大学の改 革と21世紀の大学」講師・丹保憲仁北大総長。 村内パレード・献歌祭等	

**第8期3年次 (2000年)**


	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成12年 5月	第8期3年次理事・幹事合同会議(雪印パーラー) 規約改正:第20条について①「会長は、会計年度毎に決算報告書を作成し、次期会計年度当初の理事会に提出しその承認を得なければならない②会計監査は、札幌で開催される総会前に当期3年分について実施、総会に提出して承認を得なければならない」に変更	
8月	同窓会通信第15号を発行(大寮歌祭東日本大会の案内等)	
10月1日	<b>大寮歌祭第5回東日本大会兼「瓔珞みがく」</b> 生誕80周年記念大会(東京・上野池之端文化センター)支部総会で役員改選:支部長・森谷正三(S21)、副支部長・石田端(S25)、支部長代行・篠原猛(S29)、幹事長・石川舜(S32)を選出。寮歌祭関連事業として記念誌「瓔珞みがく生誕80周年を祝う」を発行	
28日	第4回開識社(札幌・北農健保会館)講師 向井承子氏(作家・1961年北大法学部卒)演題「恵迪寮と日本人」	

**第9期1年次 (2001年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成13年 5月 6日	第9期1年次理事会(雪印パーラー)	(5月)中村睦男氏総長就任
7月	同窓会通信第16号を発行、総会・大寮歌祭北海道大会の案内等	(9月)創基125周年記念事業として「遠友学舎」を建設
9月15日	<b>第9期総会 &amp; 大寮歌祭第9回北海道大会</b> (札幌・京王プラザホテル)北大創基125周年と寄宿舎開設125周年記念 総会で第4代会長に中瀬篤信(S26)代表幹事に横山清(S31)を選出。繁富一雄前会長を名誉会長に推戴。役員的大幅な若返りを図り、諸問題に対して改革検討委員会を発足。大寮歌祭は、中村総長をはじめ広重、有江元学長を来賓に迎え、総勢150余名が参加。	
9月	<b>会誌「恵迪」第4号(開寮125周年記念号)を発行</b>	
10月	事務局通信を発行	

**第9期2年次 (2002年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成14年 7月	同窓会通信第17号発行 改革案検討状況、大寮歌祭西日本大会案内など	

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
8月 1日	第9期2年次理事・幹事合同会議(雪印パーラー)	
8月31日	<b>臨時総会 &amp; 大寮歌祭第5回西日本大会</b> (京都・第二タワーホテル)開識社:同志社大資料室 本井康博氏の「クラーク博士と新島襄先生」支部役員改選:支部長・辻山昌佑(S26)、支部長代行・窪田開拓(S32)幹事長・伊藤靖久(S38)事務局長・岩井隆郎(S51) 臨時総会:改革委員会から①北海道、東日本、西日本の3支部体制へ移行し会員の増強を図る②「恵迪寮同窓会通信」を年2回の定期発行とし、雑誌「恵迪」は各支部と連携し、発行を継続	 2002年 西日本大会
10月19日	「都ぞ弥生」生誕90周年記念祭墓前祭(静岡市・横山家の墓所長源院)、懇親会寮歌祭(同市・クーポール会館)20日に登呂遺跡、久能山、三保の松原などをオプションツアー	

**第9期3年次 (2003年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成15年 1月31日	臨時総会 & 寮歌歌始め会(札幌・氷雪の門) 臨時総会で北海道支部発足。支部長・幸健一郎(S30)副支部長・和孝雄(S32)轟明(S31)幹事長・新井三郎(S32)	
4月	同窓会通信第18号を発行。規約・組織改正など	
5月10日	第9期第3年次理事会(札幌・不二屋)全国から選出された理事による初の会議。組織強化として各支部の下に地域毎の「〇〇地域支部」または「〇〇恵迪会」の設置を目指す。規約改正で会計条項を審議。会員が拠出した基金が利子を生まない終身会員制度や「恵迪」出版カンパ制度が実質的に破綻していることを確認。改革検討委員会に支部活動と本部のあり方や会計条項の改訂を提案するよう委嘱した。	
9月27日	<b>大寮歌祭第6回東日本大会兼「春雨に濡る」</b> 生誕80周年記念祭(東京・上野池之端文化センター) 支部総会で役員改選:支部長・篠原猛(S29)、副支部長・山中義正、(S32)幹事長・石川舜(S32) 大寮歌祭で藤由越山師による尺八演奏後、参加者全員で「春雨に濡る」斉唱	
11月	「同窓名簿」(平成15年版)を発刊。記載1万1885名、3000部印刷	

**第10期1年次 (2004年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成16年 5月22日	大寮歌祭in美浦(茨城・陸平貝塚)北は北海道から南は長野県松本までの同窓生とその家族、旧制高校のOB約80名が参加。寮歌祭には貝塚発見と保存に尽力されている明治大学の前学長・戸沢充則氏を特別ゲストに迎え、地元の女子中学生らによる「縄文太鼓」や友誼校の旧制水戸高校出身の医師・小林健次氏による水戸高の正寮歌「時乾坤」が披露され、大いに盛りあがった	(4月)国立大学法人北海道大学へ機構改革 (6月4日)予科記念碑除幕式(北大本部前) (9月4日)台風16号が北大キャンパス直撃 ポプラ並木やエルムの大木が多数倒壊
6月19日	第10期1年次理事会開催(札幌・共済ホール)	
9月19日	<b>第10期総会</b> (北海道開拓の村開拓使庁舎講堂) <b>&amp;大寮歌祭第10回北海道大会</b> (札幌パークホテル)総会で終身会員制度(3万円)は65歳以上に限定。第11期から大寮歌祭および開識社は支部事業とする。会誌「恵迪」と同窓会通信を合併し、毎年の発行をめざすなど決定 第5回開識社開催(クラーク会館)講師・藤田正一(S38)演題「クラーク精神と恵迪寮」	(9月14日～10月17日)企画展「恵迪寮資料展～恵迪魂の根源を追う」開催。(北大総合博物館3階展示室)

**第10期2年次 (2005年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成17年 5月28日	仙台寮歌祭(仙台・ホテル白萩)「都ぞ弥生」の斉唱で始まり、寮祭の常連歌20余曲を放歌高吟。友情参加の二高OBも登壇、校歌「天は東北」や寮歌「山紫に」を豪快に披露。翌日のバスツアーでは、二高以来の伝統がある明善寮や東北大キャンパスを見学後、仙台出身で「津軽の滄海の」作詞者・二階堂孝一君(S11)や「魔神の呪い」作歌者・佐藤惣之助君(T6)の墓前で献歌	
6月	第10期2年次理事会開催(北農健保会館) <b>会誌「恵迪」第5号(文芸誌「恵迪」と「同窓会通信」を併合)発行</b>	
7月16日	<b>大寮歌祭第6回西日本大会</b> を万博ブームに沸く名古屋で開催(アパホテル名古屋)開識社:勢力常史・名古屋国際博推進局課長「盛り上がる愛知万博・その見所」支部総会で各種報告、役員改選後、西日本大会アピールを採択	
10月1日	第6回開識社開催(札幌・時計台ホール)講師・石城謙吉(S32)・北大名誉教授、知床世界遺産科学委員長)演題「知床世界自然遺産のこれから」	恵迪寮歌史上初めて女子寮生が作曲。平成17年度寮歌「遙かなる迪(みち)」の福岡萌さん



**第10期3年次 (2006年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成18年 1月28日	北海道支部総会&寮歌始めの会(札幌・氷雪の門)支部総会で役員改選:支部長白浜憲一(S-40)、副支部長・新井三郎(S32)、千川浩治(S40)、幹事長・皆川吉郎(S43)	
5月23日	第10期3年次理事会(札幌・パークホテル)記念事業及び恵迪百年記念祭を開催し、恵迪魂の高揚を図り、同窓会の活性化を推進する	
6月	<b>会誌「恵迪」第6号を発行</b>	
9月30日	<b>大寮歌祭第7回東日本大会</b> (東京・東海大校友会館)支部総会で役員改選:支部長・山中義正(S32)、副支部長・関口光雄(S39)、幹事長・坂倉雅夫(S44)寮歌祭は北大OBをはじめ、旧制二高OBも友情参加。昭和30年代の恵迪寮女性事務員も出席。会場から皇居、霞ヶ関官庁街の鳥瞰を楽しみ、寮歌を放歌高吟	
10月 6日	第7回開識社(北大遠友学舎)講師:青田昌秋(S33・北大名誉教授、オホーツク流氷科学センター長)演題「海からの素晴らしい贈り物～流水～」	

**二つの百年祭(恵迪寮命名・「都ぞ弥生」誕生)盛大に敢行**

**第11期1年次 (2007年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成19年 1月	恵迪寮命名百年記念事業趣意書を会員に配布	
4月28日	第11期1年次理事会(札幌・センチュリーロイヤルホテル)事務局通信(恵迪百年記念特別号)発行。恵迪寮命名百年記念祭案内	
6月	<b>恵迪寮命名百年記念事業の概要</b> 百年記念委員会を組織して募金を募る。主な事業は①旧寮舎の南側にある「都ぞ弥生」歌碑の修復と再建②同窓会管理の文化財を大学へ寄贈③恵迪寮歌CD、ポストカードの制作④記念オルゴール制作⑤記念誌の刊行など。	(5月)佐伯浩氏総長就任
9月21日	恵迪百年記念協賛黒百合植花祭(北海道開拓の村恵迪寮舎前)	

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
9月22日	<p><b>恵迪命名百年祭</b> 「都ぞ弥生」歌碑除幕式:佐伯浩総長や横山芳介氏・赤木顕次氏ご息女の列席の下、北大応援団、応援吹奏団、恵迪OB、現寮生ら300名が参加。クラーク会館大講堂で恵迪百年記念式典と記念講演(第8回開識社):藤田正一(S38・北大名誉教授)が「新渡戸稲造を育てた札幌農学校」のテーマで講演。講堂を埋めた同窓会員と一般参加者を合わせ約400名の聴衆に深い感動を与えた</p> <p>一万人で歌う「都ぞ弥生」:第一部は中央ローンに集まった約1000名による「都ぞ弥生」の大合唱。第二部は、クラーク会館大講堂で、北大交響楽団による「新世界」の荘厳なシンフォニー。<b>恵迪百年記念大寮歌祭・第11回北海道大会</b>(京王プラザホテル)全国から集まった旧制高校組を含め300名を超える参加者が寮歌に酔いしれた。</p> <p><b>第11期総会</b>(クラーク会館大集会室)で第5代会長に横山清(S31)、代表幹事に白浜憲一(S40)を選出。名誉会長に中瀬篤信前会長を推戴。副会長・高井宗宏(S31)厚谷純吉(S30)山中義正(S32)、副代表幹事・新井三郎(S32)氏平増之(S38)皆川吉郎(S43)</p>	 <p>歌碑「都ぞ弥生」改修除幕式</p>
10月27日		 <p>1万人で歌う「都ぞ弥生」</p>
11月		 <p>恵迪百年記念(開拓の村)</p>
10月27日	<p>「恵迪寮命名百年を祝う大寮歌祭」(東京海洋大学楽水会館)雨台風の豪雨の中、80余名の参加者があった</p>	
11月	<p><b>会誌「恵迪」第7号兼百年記念号発行</b>(恵迪百年事業特集)160頁、3000部印刷</p>	

**第11期2年次 (2008年)**


	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成20年2月	<p>恵迪同窓会ホームページリニューアル <a href="http://www.keiteki-ob.jp/">http://www.keiteki-ob.jp/</a></p> <p>第11期第2次理事会(札幌パークホテル)前年に逝去された幸健一郎・前北海道支部長と辻山昌佑・前西日本支部長に黙祷。第11期第1年次決算は、単年次として初めての黒字決算(128万4千円)になった。その主要因は百年記念グッズの販売収入153万9千円、特別会計の恵迪百年記念事業で、個人1003名、企業46社を合わせた協賛金は1290万9千円となり、149万5千円の黒字を計上。また、創立25周年記念として、「25年のあゆみ」を発行し、大寮歌祭西日本大会で特別功労者表彰を行う</p>	
4月25日		

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
4月	<p>北海道大学との連携を強化するために、北大連合同窓会に加盟申請</p> <p><b>会誌「恵迪」第8号発行</b></p> <p><b>大寮歌祭第7回西日本大会</b>(京都第二タワーホテル)25周年記念事業で特別表彰。開識社:演題「坂本竜馬と蝦夷地開発の夢」、講師・木村幸比古霊山歴史館学芸課長。大寮歌祭終了後、オプションとして祇園・二軒茶屋「中村楼」へ</p>	
6月		
9月27日		

**第11期3年次 (2009年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成21年4月25日	<p>第11期3年次理事会(札幌パークホテル) 創立25周年記念事業:開拓の村恵迪寮舎展示の補修。「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭に向けての意思統一</p> <p><b>会誌「恵迪」第9号発行</b></p> <p><b>大寮歌祭第8回東日本大会</b>(東京・恵比寿ガーデン)開識社:演題「混迷する国際捕鯨情勢と千島捕鯨の興亡」講師:加藤秀弘(S46、東京海洋大学海洋科学部教授)、支部総会・大寮歌祭:旧制高校の友情参加を含め100余名参加。</p> <p>恵迪寮同窓会第10回開識社講演会(札幌時計台ホール) 北大大学院獣医学研究科教授・喜田宏氏。演題「鳥、ブタ、そしてパンデミックインフルエンザ」</p>	
6月		
10月 3日		
10月23日		


**第12期平成22年度 (2010年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成22年4月24日	<p>平成22年度理事会(札幌パークホテル) 2年後の2012年に「都ぞ弥生」誕生百年記念事業を全国規模で展開し、実行委員会を結成し、企画、立案を練ることを確認</p> <p><b>会誌「恵迪」第10号発行</b></p> <p><b>第12期恵迪寮同窓会&amp;大寮歌祭</b></p> <p>第一部総会(北海道開拓の村旧開拓使庁舎講堂)会長に横山清(S31)、代表幹事に白浜憲一(S40)、会計監査に佐藤市雄(S38)、西雪弘光(S40)を選出</p> <p>第二部:大寮歌祭北海道大会(札幌パークホテル)歴代の総長が列席、小樽商大応援団OBも友情参加</p>	
6月		
9月 25日		 <p>旧寮舎前で献歌</p>



	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
10月 3日	西日本支部の中に東海地区恵迪会誕生。結成大会に36名参加	(10月) 北大名誉教授 鈴木章氏が2010年のノーベル化学賞を受賞。授賞式は2011年1月、スウェーデン・ストックホルムで
11月24日	第11回開識社講演会(札幌時計台ホール) 演題「20万人を救った近代噴火予知科学の軌跡～有珠山噴火10周年に考える」講演・岡田弘(S37・北大名誉教授)	

**第12期平成23年度 (2011年)**


	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成23年1月15日	「都ぞ弥生」百年記念実行委員会結成	 <p>名札掲示式</p>
1月	開拓の村旧寮舎名札第一次分譲開始	
4月 8日	「都ぞ弥生」を歌えない、歌わない北大生が増加していることから、入学式で同窓会自作の「都ぞ弥生」CD 2600枚を無料配布	
4月23日	第12期平成23年度理事会(札幌パークホテル) 来年の「都ぞ弥生」百年記念事業と記念祭について企画案の骨子を決定し、成功に向けての意思統一	
6月	<b>会誌「恵迪」11号発行</b>	
9月17日	<b>大寮歌祭第8回西日本大会</b> (京都第2タワーホテル) 第一部:開識社・総会 演題「校歌『永遠の幸』のルーツをたどって」講演 野呂正之(S51・朝日新聞論説委員) 支部総会:新支部長に伊藤靖久(S38)、新幹事長に植松高志(S44)選出。第二部:大寮歌祭。関西全域から北大OBも含め100名を超える仲間が結集、寮歌を満喫	
10月13日	恵迪寮同窓会第12回開識社(札幌時計台ホール) 演題「汚染による潜在的な健康リスクについて～その“予防原則”を考えながら」講演・北大環境健康科学研究センター特任教授 岸玲子氏	

**第12期平成24年度 (2012年)**

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成24年 4月 8日	前年に続き北大入学式でCD「都ぞ弥生」2600枚配布	
24日	第12期平成24年度理事会(札幌パークホテル)「都ぞ弥生」百年記念の目玉事業としてドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」制作が決定、目標に向かって同窓会が総力を上げて取り組むことを確認。6月9日の百年記念祭について、プログラムの最終確認を行った	

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
5月13日	北海道開拓の村旧寮舎で記念植樹祭と名札掲示式。名札分譲は300名を超える応募者があり、出席の一人ひとりが懐かしき青春時代を想いながら名札を掛けた	 <p>「都ぞ弥生」生涯百年記念墓前祭(静岡・長源院)</p>
5月19日	横山芳介君ゆかりの静岡で墓前祭&大寮歌祭 墓前祭(長源院)、寮歌祭(クーポール会館)。横山家の親族をはじめ、「都ぞ弥生」を愛する多くの人々が参集、名寮歌誕生百年を祝う	
6月 9日	<b>「都ぞ弥生」百年記念祭</b> 初夏の爽やかな気候の下、北大構内や京王プラザホテルを会場に延べ1000名を超える参加者が名寮歌の百歳を祝福。記念式典に続き、記念コンサートで植村理葉さん(ヴァイオリン)、一宮明代さん(ピアノ)が「都ぞ弥生幻想曲」「ツゴイネルワイゼン」などを演奏。記念講演会は佐川光晴(作家・S58)が『「都ぞ弥生」これまでの百年とこれからの百年』と題して熱弁を振るった。中央ローンでの「都ぞ弥生」大合唱では、寮歌指導のほか、英語・ドイツ語・中国語・韓国語・スワヒリ語版による「都ぞ弥生」を紹介。記念寮歌祭は海外(フランス)をはじめ全国から400人近い仲間が会場は熱気にあふれ、「都ぞ弥生」を5番まで歌い、「ストームの歌」と続き、締め「別離の歌」で大団円	「都ぞ弥生」百年記念展示会(5月20日～6月20日・北大総合博物館)
8月	<b>会誌「恵迪」第12号兼「都ぞ弥生」百年記念号発行</b>	 <p>都ぞ弥生 大合唱</p>
10月 6日	大寮歌祭&「都ぞ弥生」百年記念第9回東日本大会(東京・恵比寿ガーデン) 第一部 開識社 講演:渡辺興亜(S33・国立極地研究所名誉教授) 演題:「南極大陸内陸探査の道筋」	
10月11日	恵迪寮同窓会第13回開識社講演会(札幌時計台ホール) 講演:石井正之氏(北海道地質調査協会技術アドバイザー) 演題「おらが街“サッポロ再発見”～地形・地質条件と北都の発見」	

第12期平成25年度 (2013年)

	同窓会の歩み	北大・現寮の出来事
平成25年1月26日	新年寮歌始めの会北海道支部総会 新支部長に内藤春彦(S40)を選出	(4月)山口佳三氏総長就任
4月25日	第12期平成25年度理事会(パークホテル)ドキュメンタリードラマ「清き國ぞとあこがれぬ」の放送日決定(HBCテレビ・5月6日)。DVD発売も6月上旬と決まり、頒布体制の意志統一がなされた。会議終了後、「清き國ぞとあこがれぬ」完成披露試写会。脚本の長沼修氏、監督の早川渉氏、HBC制作関係者、ドラマに出演した3名の寮生を招待。北大、恵迪寮の素晴らしさを再認識させる感動的な物語に拍手が鳴り止まなかった	 「清き國ぞとあこがれぬ」のロケ風景
6月8日	茨城恵迪会結成大会 東日本支部会員を含め、20名出席	
7月	会誌「恵迪」第13号発行	
9月28日	第13期恵迪寮同窓会総会 & 大寮歌祭第13回北海道大会(北大クラーク会館・北部食堂)「清き國ぞとあこがれぬ」上映会、30周年記念で特別功労者を表彰	(9月28日)恵迪寮大寮歌祭に合わせ第2回北海道大学ホームカミングデー(クラーク会館・各学部・研究センター)
10月6日	大寮歌祭in大宮(埼玉恵迪会結成・予定)	
10月25日	恵迪寮同窓会第14回開識社講演会 講演:沖藤典子氏(北大文学部卒・ノンフィクション作家) ※9月28日以降は予定	

※恵迪寮OBは敬称略

第12期恵迪寮同窓会役員名簿 (平成25年9月現在)

- [名誉会長] 中瀬 篤信(S26)
- [会長] 横山 清(S31)
- [副会長] 高井 宗宏(S31)、内藤 春彦(S40)、坂倉 雅夫(S44)、伊藤 靖久(S38)
- [会計監査] 佐藤 市雄(S38)、西雪 弘光(S40)
- [本部理事] 山崎 克彦(S32)、和 孝雄(S32)、魚山 和春(S39)、千川 浩治(S40)、村上 昭男(S43)、関口 光雄(S39)、平田 更一(S40)、荒木 隆夫(S49)、竹下 忠彦(S53)、加藤 秀弘(S46)、浦谷 義博(S41)、藤井 洋治(S37)、植松 高志(S44)、木村 成二(S46)、岩井 隆郎(S51)
- [代表幹事] 白浜 憲一(S40、広報)
- [副代表幹事] 新井 三郎(S32、事業)、氏平 増之(S38、名簿)、皆川 吉郎(S43、会計)
- [常任幹事] 大隈 昭二(S40、編集長)、藤田 正一(S38、文常)、木村 正博(S41、現寮)
- [幹事] 高橋 陽一(S30)、小笠原 孝之(S31)、吉原 照彦(S36)、八重樫 幸一(S41)、岩本 栄一(S44)、吉沢 武治(S45)、谷口 哲也(S48)、瀧上 玲子(H8)
- [事務局] 佐藤 静子(アークス)

[北海道支部]

- [支部長] 内藤 春彦(S40)
- [副支部長] 千川 浩治(S40)  
佐々木宏治(S42)
- [幹事長] 八重樫幸一(S41)

[東日本支部]

- [支部長] 坂倉 雅夫(S44)
- [副支部長] 平田 更一(S40)
- [幹事長] 関口 光雄(S39)

[西日本支部]

- [支部長] 伊藤 靖久(S38)
- [副支部長] 浦谷 義博(S41)
- [幹事長] 植松 高志(S44)
- [事務局長] 岩井 隆郎(S51)

記念グッズの紹介



**DVD「清き國ぞとあこがれぬ」 3,000円**  
5月6日にHBCで放映された番組をCM抜きで本編51分と特典映像7分の58分に再編集。北大や恵迪寮のすばらしさが実感できるドキュメンタリードラマの傑作。



**北大恵迪寮歌CD「都ぞ弥生」 2,000円**  
明治40年から昨年度までの寮歌の中から、OBの年齢層別にアンケートを行って選んだ33曲を収録したオリジナルCD(2枚組)。百年記念事業として全曲を北大合唱団OB会(指揮者:三河勝彦)が斉唱。



**恵迪百年記念ポストカード「都ぞ弥生」500円**  
恵迪寮歌と北大風景のポストカード8枚一組構成。竹ペンによる透明水彩画で有名な伊藤太郎画伯による原画は、北大構内の風景4枚と北大を代表するエンレイソウやクロユリなど4枚。



**特製恵迪寮百年記念オルゴール 40,000円**  
寮生章・恵迪寮百年記念の文字入り「特製オルゴール」で、都ぞ弥生の5番まで全曲を再生。

陣羽織 6000円 ・ 恵迪タイピン 1500円 ・ 写真集「青春の北大恵迪寮」 1000円 ・ 会誌「恵迪」創刊号～第8号 1000円